

2026.  
4.28<sup>火</sup> ~  
5.31<sup>日</sup>

企画展

Pyrography: Brown  
Strange Things



焼  
絵  
つ  
て  
、  
なん  
だ  
?

茶  
色  
の  
珍  
事

中之島 香雪美術館  
Nakanoshima Kosetsu Museum of Art

◎ 休館日：月曜日、5月7日 ※ただし、5月4日(月・祝)は開館  
◎ 開館時間：10時～17時(入館は16時30分まで)  
◎ 主催：毎日新聞社、公益財団法人香雪美術館、朝日新聞社  
◎ 協力：板橋区立美術館

〔 夜間特別開館 〕  
開催日：2026年5月1日(金)、15日(金)、29日(金)  
時 間：10時～19時30分(入館は19時まで)

晴山「虎図」(部分) 江戸時代(18～19世紀) 彌記繪菴蔵



# 日本初!

焼絵作品  
約100点を展示

「焼絵」とは、

火筆画や焦画、烙画などとも呼ばれる、

熱した火箸や鏝を紙や絹などに押し当て、

絵画や文字を焦がして

表現する技法を用いた作品です。

色調は茶から黒に近い色まで展開し、

また線描から点描、濃淡といった

水墨画の技法も巧みに再現されています。

江戸時代には、優れた焼絵を数多く手掛けた

稲垣如蘭こと近江山上藩(現在の滋賀県東江市)の

第五代藩主稲垣定淳(1762~1832)をはじめ、

藩主や家老クラスの間で

この技法が流行しました。

少ない材料で制作可能な点から、

根底には質素儉約を推奨する

時世を反映しているとも推測されます。

一方、葛飾北斎の弟子とされる

北鼎如連(生没年不詳)のような

浮世絵師にも焼絵の名手が現れ、

さらには狩野派の特徴を有する作例も

確認されています。

技法の特殊さから作例は多くありませんが、

一部の間では試みられていた様子がうかがえます。

また、大田南畝と来舶した

中国人との間で焼絵談議が行われ、

朝鮮通信使を介し烙画が紹介されるなど、

焼絵を通じた国際交流も行われました。

本展では、これまでほとんど

紹介されることのなかった焼絵について、

日本をはじめ朝鮮と中国、現代の焼絵作品を展覧し、

その美と制作背景を探ります。

白蔵「竹虎図」(部分)  
江戸時代(19世紀)  
彌記繪電蔵

作者不詳

「花鳥図」(部分)

朝鮮時代

個人蔵

講演会のお申し込みはこちら▶▶▶

## 記念講演会

「朝鮮通信使も見た日本の焼絵」

講師・片山真理子氏

(東京藝術大学美術学部附属古美術研究所助教)

日時・5月16日(土) 14時~15時30分

会場・中之島美術館(中之島香雪美術館隣)

参加料・500円(展覧会観覧には別途入館料が必要)

定員・280名(事前申し込み・先着順)

受付開始・2026年2月15日(日)

## ギャラリートーク

5月1日(金)、

15日(金)、29日(金)

いずれも17時より30分程度

## こども無料DAY

5月5日(火祝)

小学生から大学生まで

入館無料!保護者は有料です

※学生証をご提示ください。

蘭旭「梅鶴図」(部分)  
安政3年(1856)  
彌記繪電蔵

## 中之島 香雪美術館

Nakanoshima Kosetsu Museum of Art

〒530-0005 大阪市北区中之島3-2-4

中之島フェスティバルタワー・ウエスト4階

TEL:06-6210-3766

◎Osaka Metro四つ橋線「肥後橋」駅4号出口、京阪中之島線「渡辺橋」駅12号出口直結◎JR「大阪」駅桜橋口より徒歩約15分◎Osaka Metro御堂筋線・京阪本線「淀屋橋」駅7号出口より徒歩約8分◎JR東西線「北新地」駅11-5出口より徒歩約8分

HP



SNS

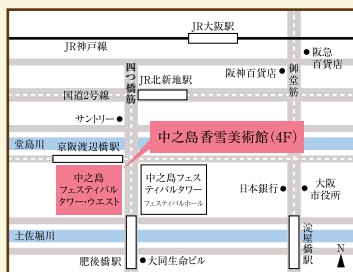


## 入館料

一般1,600(1,400)円、高大生800(600)円、小中生400(200)円

※( )内は前売り・20名以上の団体料金

前売り券は2026年2月1日から2026年4月27日まで、中之島香雪美術館、フェスティバルホール・チケットセンター、主要プレイガイド、コンビニエンスストア、公式HP(オンラインチケット)で販売します。



次回展覧会

特別展「巨大大工コがやって来た!川上和歌子×香雪美術館コレクション(仮)」展  
2026年6月27日~8月30日